

園・学校・家庭・地域と連携した学習習慣の確立に向けた取組

◆ 教育局の学力向上策の概要

- 目指す子ども像を共有した異校種間の連携及び一貫教育を推進
- ・ 園・小学校間や中学校区、近隣の学校間での「目指す子ども像」を共有することによる連携・一貫した取組の在り方について指導助言
- ・ 園・学校・家庭・地域と連携協働した生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組や、幼小中高が連携した授業改善による基礎学力の定着に向けた取組の在り方について指導助言

◆ 学力向上策に関連した特色ある取組

取組のポイントとその具体

■ 1 家庭における学習習慣の確立に係る研修の実施（標津町教育委員会）

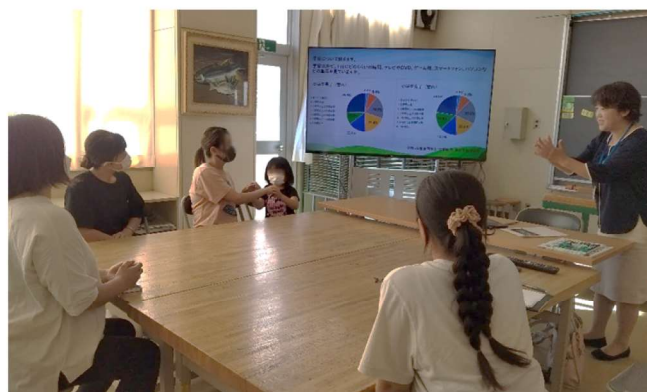
- ・ 管内小・中学校の教職員及び保護者を対象としたPTA連合会研究大会において、家庭における学習習慣の確立に向け、学校と家庭がそれぞれの役割で取り組むことについて交流した。
- ・ 講座を通して、学校は、子どもの「分きたい」や「できるようになりたい」などの思いを大切に、授業と関連付けた家庭学習を充実させること、家庭は、褒めて見守りながら、学習時間の使い方などを子どもと一緒に考えていくことが大切であることについて、参加者と共有した。



【研究大会の様子】

■ 2 「親学」UP！プロジェクトによる保護者への支援（別海町立野付小学校）

- ・ 教育局が実施している「『親学』UP！プロジェクト」を活用し、入学前の児童の保護者を対象とした研修会において、子どもの望ましい学習習慣や生活習慣の確立に向けて、学校や家庭で取り組むことについて交流した。
- ・ 研修会では、「子どもの成長に寄り添う親・教師の関わりについて」をテーマに、家庭での学習習慣の確立に向けて、子どもの成長に応じた関わり方を大切にすることや、望ましい生活習慣の確立に向けて、スマホやゲーム機の使い方のルールを親子で話し合うことが大切であることについて、参加者と共有した。



【研修会の様子】

◆ 成果・課題

- ・ PTA連合会研究大会や「『親学』UP！プロジェクト」など、学校と家庭が連携した取組を通して、管内の小・中学校の教職員は、1人1台端末の利活用を含む家庭学習の進め方や授業との関連を図った家庭学習の大切さ、保護者は、子どもの望ましい学習習慣や生活習慣の定着に向けて親子で考え、話し合う大切さについて、理解を深めたことにより、家庭学習の定着等が図られてきた。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果分析等を基に、授業と関連付けた家庭学習の具体的な課題提示の仕方や学習内容を研修する機会を設けるなどして、各学校が、家庭学習と一体的に捉える授業づくりのイメージを明確にする取組を進める必要がある。